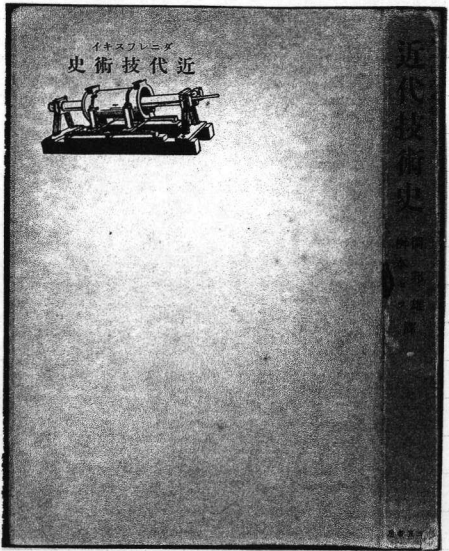
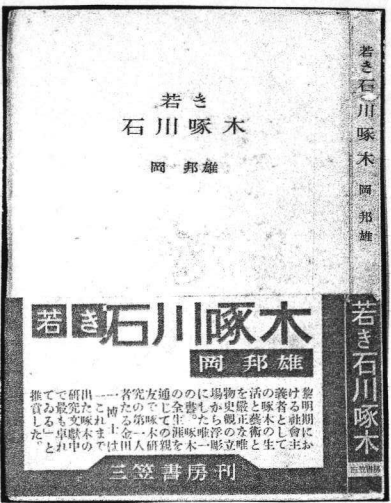


岡邦雄 さかき 評論家。明治二十二年一月十五日山形縣生れ、昭和四十二年五月一日（一九九〇）九月二二。筆名上澤次郎、小山謙吉。大正二年東京物理學校卒。十二年第一高等學校助教授。昭和七年戸坂潤、二枚博音等と唯物論研究会を興す。十二年檢舉、保釋後執筆停止處分を受く。戦後鎌倉アカデミア教授。

著譯書『インデオロギー論』（合著・理想社編、昭和六年七月十日理想社出版部）、『赤露今白の展望』（合著・犯罪科學編輯部編、昭和七年十月二十日武成社）、『ユートン著『プリンシピア』全二冊（譯上、下・昭和八年九月十五日春秋社）春秋文庫・第二部』、『百科辭典の知識』（合著・下中瀨二郎編、昭和十年二月一日平凡社）、『新ダンシタロペデマト』（昭和十年六月十九日福田書房）、『清徳論』（戸坂潤共著、昭和十一年五月二十日三省書房『唯物論全書』）、『科學と文學』（昭和十一年六月二十日三省書房）、『街頭評論』（昭和十二年五月二十日柏根書房）、『戦争の理論』（合著、昭和十二年十一月の理論）、『日本評論社』、『日本評論』十二卷

若き石川啄木 岡邦雄 著



號別冊附録）、『ヴェ・ダニレナスキイ著『近代技術史』（辨本セツ共譯、普及版・昭和十二年十一月十日三省書房）、『回想の戸坂潤』（合著・三省書房編集部編、昭和十二年十月二十

五、京都・（二）書房）、  
東京・石川啄木（昭和二十四年十一月）  
五、（二）書房）等。